

西川町立病院事業の実績と今後の見込み（概要）

1. 令和5・6年度の実績と見込み（資料 1-3「R5 患者動向」、資料 1-4「経営指標」参照）

(1) 令和5年度実績

- ・「入院患者数/日」は、前年度比同数の13.7人となりました。
- ・「外来患者数/日」と「病床利用率」は、令和4年度比でいずれも微減となり、目標を達成できませんでした。

(2) 令和6年度実績と見込み

- ・「入院患者数/日」は、前年度実績を踏まえ、積極的な救急応需や入院受け入れ等を行ったことにより、前年度比+3.1人の18.1人に増加し、目標値を上回っています。
- ・「病床利用率」は、(3)の「入院患者数/日」の増加に伴い、前年度比+7.1ポイントの42.1%に増加し、目標値を上回っています。
- ・「外来患者数/日」は、前年度比+1.2人の87.0人に増加より多いものの、目標値を下回っています。しかしながら、年末年始は、急患を積極的に受け入れたことにより、9日間で153人の診療を行いました。引き続き、休日・夜間の急患対応を積極的に行うことで、目標達成を目指します。

指標	基準値 (令和4年度)	令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値
入院患者数/日	13.7人	14.2人	13.7人	15.0人	18.1人
外来患者数/日	89.1人	89.7人	85.8人	94.2人	87.0人
病床利用率	31.9%	33.0%	31.8%	35.0%	42.1%

2. 令和5年度の会計状況（資料 1-2「R5 決算概要」参照）

令和5年度の事業収入は、新型コロナウイルス感染症病床確保対策補助金の終了やワクチン接種及びPCR検査件数の減少により、前年比約9921万円減となりました。会計状況としては、病院事業収益に対し費用が超過しており、一般会計から2億6137万3千円を繰り入れても1億788万2千円の赤字となりました。

これは、西川町立病院経営強化プランに記載しているとおり、町の財政状況として病院会計の黒字化に合わせて繰入することが限界に近付いていることから、繰入金の限度額を約3億円とし、赤字決算で累積赤字を抱えながら国が求めている令和9年度の黒字化を目指すための措置です。

3. 令和6年度の会計見込み（資料 1-5「収支計画対実績対比【11月まで】」参照）

経営強化プランの収支計画に対する4月から11月までの実績を反映させた資料です。12か月のうち8か月経過（66.6%）分の金額と対比しています。

(1) 収益的収入

医業収益のうち入院収益は、実績進捗率84.9%と計画を大きく上回り、外来収益も実績進捗率67.3%と計画を上回っています。医業収益全体は実績進捗率74.8%で、計画を上回っており、年度末までこのまま推移する見込みです。

医業外収益は、実際の収入ではなく、8か月経過分の金額を記載しています。

(2) 収益的支出

医業費用は、材料費が実績進捗率77.8%と計画を上回っており、支出を圧迫する一因となっています。給与費や経費等の支出は、計画より少なくなっていますが、給与費は12月賞与の支出があるため、医業費用全体の実績進捗率を押し上げる見込みです。

医業外費用（支払利息除く）は、実際の支出でなく8か月経過分の金額を記載しています。